



# 里山レンジャー 「里山の生活を体験しよう！」（令和8年2月15日）



昭和の頃はたき木や荷物を運ぶのに「しよいこ」を使っていました。重そうだけど担いで歩けるかな？



マッチ棒を箱の横で  
こすってごらん～

昔は火を付けるのはマッチでした。火が付いたらビックリしてマッチ棒を離しちゃった💧



就実 森の学校の松林に移動し、柴刈り体験をしました。桃太郎のおじいさんが出かけていった「しばかり」とは、山に入って「火をおこすために必要なたき木（小さな雑木や枝）などを刈りとったり拾い集めること。」です。昔の人たちは、山から木を切って薪（まき）にしたり、葉っぱや草をあつめて肥料にしたりして、生活に役立てていました。

## 今回の体験は盛りだくさん♪



シイタケが出るまで  
(うまいけば)  
2年半～！

シイタケのコマ打ち体験



竹のキーホルダー作り



マシュマロ  
上手く焼けたね！

スマア作成（キャンプでの定番スイーツ）



「落ち葉かきが楽しかった。」「柴かりは芝生の草をかるのかと思ってた。」「図工で木を切った事はあるけど、生の木を伐るのは難しかった。」等、この体験からみんなが学んだことは多かったようです。

保護者の方からは、「こんなに身近にある里山を守る活動をみんなに知ってもらい、継続してもらえたらうれしいです。」との感想をいただきました。

今回の体験を通し、里山に手を入れていく事が大切なんだということ、わかってもらえたかな？

自然の中での活動を楽しみながら、今後も里山保全の重要性を伝えていきたいと考えています。